

2025年3月吉日

国際コミュニケーション学科へ入学予定の皆さまへ

四天王寺大学
文学部国際コミュニケーション学科

1年次海外体験実践演習の説明会のご案内

4月2日（水）入学式及びオリエンテーション終了後にプログラム内容や渡航の手続きに関する説明会を実施します。新入生及び保証人の皆さまにおかれましては、ご出席いただきますようお願いいたします。

○海外体験実践演習説明会

対 象：新入生・保証人の皆さま

日 時：4月2日（水）13時～14時

場 所：6B-354（予定）

内 容：プログラム内容に関する説明

渡航手続きに関する説明

※当日は、本説明会の前に、入学式及びオリエンテーション（新入生・保証人）が実施されます。入学式当日の全体スケジュールについては、同封の「入学式案内」をご確認ください。

ご参加にあたり事前アンケートにご協力をお願いいたします。

詳しくは、裏面をご確認ください。

お問い合わせ先

四天王寺大学グローバル教育センター

電話番号：072-956-9934

受付時間：月～金曜日 9:00～17:30（大学休業期間を除く）

MAIL：icce@shitennoji.ac.jp

本資料は、2月15日(土)開催のプレエントランスガイダンスにてお渡しした資料と同一のもので、既にアンケートにご回答いただいている場合、再度ご回答の必要はございません。

2025年3月吉日

国際コミュニケーション学科へ入学予定の皆さまへ

四天王寺大学
文学部国際コミュニケーション学科

【要回答】1年次海外体験実践演習に関するアンケート

合格おめでとうございます。大学生活を目前に、夢と希望に胸をふくらませていらっしゃると思います。

さて、別添「海外体験実践演習：新たな「国際化」をアジアで体験！」にありますように、国際コミュニケーション学科では1年次秋(2025年10~12月)にインドネシア、フィリピン、ベトナムにある大学での海外研修(いずれか1カ国を選択)を全員に強く推奨しています。

本プログラムで渡航し、希望する学生全員に現地大学の授業料、宿泊費を特別奨学金として給付いたします。実質的に必要なのは、渡航費、現地移動費、海外旅行保険料、食費、ビザ取得費等です。留学費用が高騰する中で、こんな機会は滅多にありません。本学科ならではの取り組みです。

「海外体験実践演習」参加申込時点(2025年4月24日[木]予定)で、2026(令和8)年6月末以降も有効なパスポートが必要となります。パスポートの発行には通常1~2週間を要します。参加希望者は入学前からご準備ください。申請方法はお住まいの自治体窓口(市町村やパスポートセンター)へお問い合わせください。

詳細については、別添「海外体験実践演習：新たな「国際化」をアジアで体験！」をご確認いただき、以下のアンケートに3月30日(日)までにご回答ください。

なお、新入生の皆さまと保証人の皆様を対象に4月2日(水)入学式当日に募集説明会を実施します。詳細は裏面をご確認ください。



<ご回答期限：3月30日(日)>

<https://forms.gle/r2YyivKhQbgCcmVw9>

入学式当日の4月2日(水)13:00から説明会があります。

詳しくは、裏面をご確認ください。

お問い合わせ先

四天王寺大学グローバル教育センター

電話番号：072-956-9934

受付時間：月~金曜日 9:00~17:30(大学休業期間を除く)

MAIL：icce@shitennoji.ac.jp

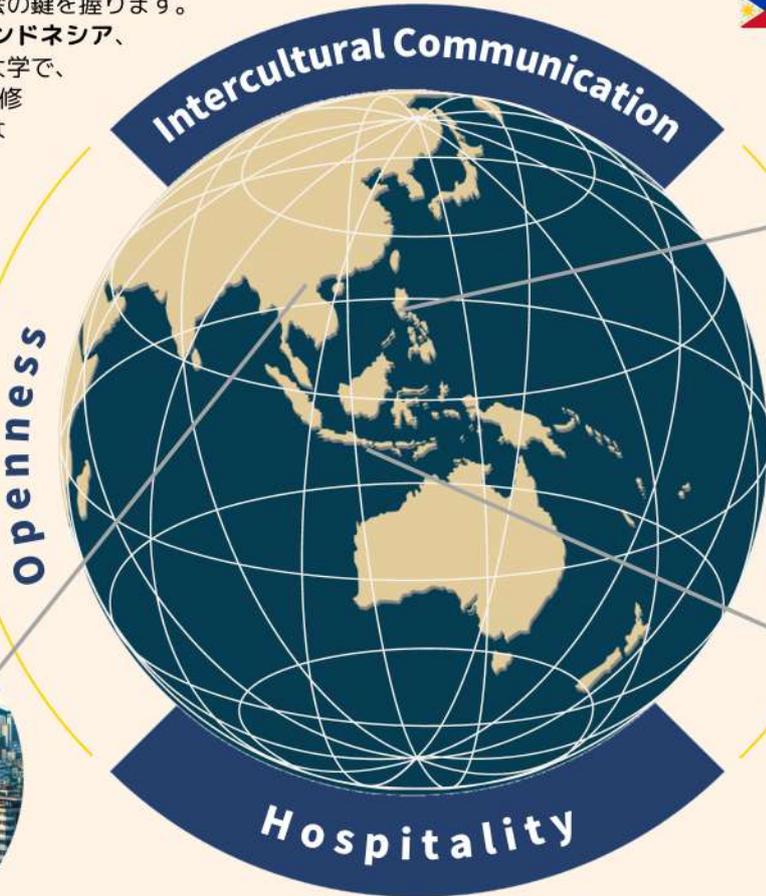
海外体験実践演習

新たな「国際化」をアジアで体験！

21世紀は「アジアの世紀」と呼ばれており、急成長するアジアの諸外国が国際社会の鍵を握ります。こうした中で、本学科は、インドネシア、フィリピン、ベトナムにある大学で、1年次秋に2～3週間の海外研修を全員に推奨します。集中的な異文化体験学修を通じて、多様な価値観に触れ、学び、考えます。ここで得た学びは4年間、さらには一生モノの財産となります。渡航にあたって、異文化交流講座、留学準備講座を充実させ、そのほかさまざまな手続きを手厚くサポートします。



★ ベトナム・ハノイ



🇵🇭 フィリピン・セブ



🇮🇩 インドネシア・バリ

語学力+異文化体験

現地では語学の授業はもちろん、その国ならではの**異文化体験**の機会も設定されています。英語をしっかりと学びたいければ、フィリピン。異文化体験の機会を多く得たいければ、ベトナム。バランス型のインドネシア。「**なりたい自分**」に合わせて、3カ国から**希望する研修先を選び、渡航**します*。

* 裏面「その他注意事項」4を参照のこと

授業料+宿泊費給付

本プログラムで渡航し、希望する学生**全員**に現地大学の**授業料、宿泊費**を特別奨学金として支給します。実質的に必要なのは、渡航費、現地移動費、食費、海外旅行保険、ビザ取得費等です。留学費用が高騰する中で、こんな機会は減多にありません。本学科ならではの取り組みです。

充実した事前学修

事前学修として、**異文化交流講座**やオリエンテーションなどが充実*1。渡航先について学びを深めるとともに、英語を通じた異文化体験を行い、海外渡航に備えます。また、留学準備講座として、現地に渡航するにあたっての注意点や心構えについても学びます。これにより、安心して渡航できます。

* 裏面「その他注意事項」5を参照のこと

研修受入校



インドネシア デンパサーマハサラスワティ大学

インドネシア共和国バリ州デンパサール市にある4年制私立大学。バリ州最大級の私立大学(学生数：約14,000人)で、外国語分野に特に強いことで知られています。大学が位置するデンパサール市は、バリ州の中で最も安全な地区とされます。本研修先では、原則として、毎日午前中に同大学で英語の授業に参加し、午後は、インドネシアの言語や、バリの伝統文化、歴史遺産などについて現地実習も交えた学修を行います。



フィリピン ラプラセブ国際大学

フィリピン共和国セブ・マクタン島に2021年に開学した政府認証の4年制私立大学。学長にはフィリピン大学の著名な教育家が就任し、世界で活躍できる高度人材の育成を目標に掲げています。大学・寮はセキュリティ万全で安心して生活できます。本研修先では、原則として午前中にホスピタリティ英語やビジネス英語について学び、午後には英語でフィリピン文化やそのほか外国語(タガログ語など)について学びます。また、期間中に1回、フィールドワークを行います。



ベトナム ハノイ国家大学外国語大学

ベトナム社会主義共和国ハノイ首都圏ハノイ市にある4年制国立大学。ベトナムのトップレベルの国立大学として名高く、各国の言語文化に強いことで知られています。大学が位置するカウザイ区は、ハノイ市の中でもっとも安全な地区とされます。本研修先では、原則として、毎日午前中に同大学で英語の授業に参加し、午後は、同大学教員が関係する、日本との交流を促進しているアミーゴやYMCA等との異文化交流等を行います。

費用イメージ

大学から給付

(現地授業料、宿泊費相当)

参加者負担

(渡航費、海外旅行保険料等)

現地授業料、宿泊費相当は大学が給付

} 約13~16万円(2~3週間)[※]

※渡航費の高騰、為替状況、その他諸事情により、費用等が変更となる可能性があります。
また、関西国際空港への移動費、現地食費、そのほか雑費等は含まれておりません。

その他注意事項

- 1.本プログラムへ参加する1年次生全員に、「国際コミュニケーション学科海外研修奨学金」が給付され、現地教育機関の授業料及び宿泊費相当額が免除となります。プログラムを完了された場合、本奨学金の返済は不要です。ただし、学生の意思によりプログラム参加を中止された場合等は、奨学金の返還を求めることがあります。
- 2.「海外体験実践演習」参加申込時点(2025年4月下旬締切)で、2026年6月末以降も有効なパスポートが必要となります。はやめにご準備いただくようお願いします。
- 3.プログラムの参加にあたっては、大学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。海外旅行保険料は、プログラム費用の一部に組み込まれています。
- 4.各国、渡航可能人数には上限があります。希望者多数の場合には、授業出席状況等により決定します。また、希望者が10名に満たない場合は、渡航先を変更することがあります。
- 5.事前学修の異文化交流講座、オリエンテーションは、全員受講してください。
- 6.本紙への記載情報は、2025年2月時点での予定です。諸事情により、一部変更となる可能性があります。

本資料は、2月15日(土)開催のプレエントランスガイダンスにてお渡しした資料と同一のものです。

2025年3月吉日

国際コミュニケーション学科

ご入学予定の皆様

保証人の皆様

四天王寺大学

文学部

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科「海外体験実践演習」について

文学部国際コミュニケーション学科では、1年次生全員を対象として、フィリピン、インドネシア、ベトナムの大学で3週間の海外研修を実施します。1年次早期の集中的な異文化研修を通して、多様な価値観に触れ、学び、考え、4年後のご自身の将来像を描く大きな手掛かりになる重要なプログラムです。

本資料では、今後必要となる準備や諸連絡事項をご案内します。ご参加にあたって、本資料を参考に、準備を行ってください。

1. スケジュール

時期	内容	詳細
4月2日(水) 13:00~	募集説明会・保証人説明会	入学式当日に実施します。
4月17日(木)	渡航先希望調査	授業「大学基礎演習Ⅰ」において、渡航先希望を提出してください。
4月24日(木)	募集締切	グローバル教育センターへ書類提出・パスポート提出を必要してください。 ※これ以降、渡航先の変更はできません。
5月下旬	渡航先の決定通知	渡航先が確定します。これ以降、キャンセル費用が発生します。
5月末	初回オリエンテーション	必ず出席してください。
7月初旬	危機管理セミナー1回目	
7月中旬	2回目オリエンテーション	
9~10月	渡航前オリエンテーション・ 危機管理セミナー(2回目)	
10月~11月	研修参加	2~3週間。時期は渡航先により異なります。

※スケジュールは変更となる可能性があります。

2. 費用のお支払いについて

プログラム費用は奨学金負担額を差し引いた全額をプログラム開始前にお支払いいただきます。費用のお支払いの時期は、募集説明会でご案内します。(1回目:申込金、2回目:残金の支払いを予定。)

本プログラムへ参加する 1 年次生全員に、「国際コミュニケーション学科海外研修奨学金」が給付され、現地教育機関の授業料及び宿泊費相当額が免除となります。奨学金は大学から直接、関係機関へ支払います。

プログラムを完了された場合、本奨学金の返済は不要です。ただし、プログラム参加を中止、中断された場合や出席率が著しく悪い場合は、奨学金の返還を求めることがあります。

3. パスポートの取得について【入学前の手続きを推奨】

大学へのパスポートのご提出は 2025 年 4 月 24 日(木)までに行ってください。申請から発行までに 2 週間程度を要し、かつ申請者本人が受け取る必要がありますので、ご入学前に取得されることを強く推奨します。期限までにパスポートの提出がない場合は、航空券の手配ができず、プログラムへ参加することができません。

プログラムの参加申込にあたっては、2026 年 6 月末以降(※)有効なパスポートが必要です。パスポートを取得済みの方は、必ず有効期限を確認し、有効期限が満たない場合は事前に切替申請を行ってください。

パスポートの新規・切替の申請は、市町村の窓口または都道府県のパスポートセンターへ申請してください。

パスポート申請に関するご質問は、お住まいの自治体へお問い合わせください。

パスポートの申請費用は、参加者の方がご負担ください。(奨学金の対象ではありません。)

(※)渡航先の国により異なります。期限が間近の方は、事前にご相談ください。

【インドネシア・ベトナム】:入国時 6 ヶ月以上、【フィリピン】:入国時 6 ヶ月以上+滞在日数

4. 海外旅行保険について

プログラムの参加にあたっては、大学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。海外旅行保険料は、プログラム費用の一部に含まれています。指定保険に加入することで緊急時にも旅行会社と保険会社が連携して皆さんのサポートを行います。

5. 24 時間サポートについて

プログラムの参加中に発生した病気・怪我等のトラブル時の連絡先窓口として、24 時間日本語対応のサポートデスクを設けています。アシスタンスサービスへ連絡を行うことで、保険会社、旅行会社、大学へ情報が共有され、連携したサポートを受けることができます。

6. 学科による指導について

海外渡航にあたっては、学科及びグローバル教育センターが事前指導を複数回行います。事前指導の中には、渡航準備や危機の回避や危機に遭遇した時の対処方法をお伝えする危機管理セミナーを実施します。

また、海外渡航中は、各グループにつき学科教員 2 名が引率を行います。

7. プログラムの運営について

プログラムの運営にあたっては、旅行会社へ業務を委託します。航空券手配、海外旅行保険手配、緊急時の対応の他、研修費用の集金・管理を行っています。そのため、参加者の皆さんや保証人の方へ旅行会社よりご連絡する場合があります。(詳細は入学後にお伝えします。入学前に旅行会社から連絡が来ることはありません。)

8. 連絡について

大学や関係機関(旅行会社、現地教育機関)からのプログラムに関する連絡は、入学後に付与される大学のメールアドレスへお送りします。必ず毎日1回はメールを確認するようにしてください。Gmail のシステムを利用していますので、スマートフォンのアプリ(Gmail や標準メールアプリ)で確認することができます。メールへのアクセス方法は、入学後のオリエンテーション期間中に実施する「ネットガイダンス」において説明します。

9. 単位について

本プログラムへの参加にあたっては、国際コミュニケーション学科専門教育科目「海外体験実践演習」(2単位)を履修します。

通常、科目の履修にあたっては、9月下旬の「履修登録期間」に履修登録を行いますが、「海外体験実践演習」については、参加確定後に大学側で履修登録を行います。そのため、参加者の皆さんは「海外体験実践演習」の履修について手続きはありません。

その他の一般的な履修に関しては、教務部が入学後のオリエンテーション期間中に開催する履修ガイダンスにて説明があります。

10. お問い合わせについて

本プログラムに関するお問い合わせについては、以下のお問い合わせ先へメールまたは電話にてご連絡ください。

【お問い合わせ先】

四天王寺大学 グローバル教育センター

メール:icce@shitennoji.ac.jp 電話:072-956-9934

開室時間:月曜日～金曜日 9時～17時30分